

# ★4 定期大会の成功をかちとろう

## 日刊 勤労千葉

80.11.22  
No. 589

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五〜六（公衆）〇四七二〜七二〇七

すべての組合員のみなさん  
勤労千葉が四回定期大会は、あと四日後に迫りました。昨年才三回定期大会以降の一年間の闘いをガッチリと総括し、八一・三ジェット燃料貨車輸送延長阻止闘争を最大のたたかいとする、来るべきむこう一年間の闘う運動路線を確固としてうちたてるべく、徹底した駐場討議と圧倒的な傍聴をもち、て大会の成功をかちとろうではありませんか。

### 「自前の労働運動」のさらなる前進を

われわれは、昨年才三回大会で「反合・三里塚ジェット闘争を水路にしたハロ年代に通用する自前の労働運動」路線をうちだし、この一年間を闘いぬいてきた。そして、この闘う路線のもとに国家権力・国鉄当局・勤労「本部」反動分子の一体となったあらゆる組織破壊攻撃を全組合員が一丸となつて粉碎し、着実に勤労千葉の組織的前進をかちとってきた。

### 八一・三闘争勝利を軸とする 闘う路線を確立しよう。

われわれは、来るべき一年間の最大のたたかいとして、組織の真価をかけて八一・三闘争へ決起しなければならぬ。それはなによりも八一・三闘争が、才一にハロ年代日本階級闘争の命運を決する三里塚闘争の勝利の展望をきりひろく開いてあり、才二に、国鉄労働運動―日本労働運動の「五五・一〇」にみられる惨たんたる状況のなかで、かかる暗雲を突破し、さしあたり三五万人体制粉碎闘争の勝利の突破口をきりひろくことを通して、ハロ年代日本労働運動の戦局的再生をきりひろく開いてあり、さらに才三には、「本部」反動分子の邪悪な勤労千葉破壊を粉碎し、銚子支部結成―勤労大改革に向けての展望をきりひろく開いてあるからだ。

ここにち、「本部」反動分子は、路線的破綻を増々深化し破局への道をつきすすんでいる。勤労千葉結成当初、暴力と恫喝と金、次は権力・国鉄当局への泣訴、そして今では三五万人体制攻撃の水先案内人となり下り、その代替に勤労千葉への弾圧を強要。

しかも運動的には曰共との野合と、「小谷謀略運動」、そして組合費の湯水のごとき乱費。この「本部」反動分子の実態の中にこそ、われ

全組合員のみなさん。  
駐場討議をさらに深め、全支部からの代議員の圧倒的結集をもち、才四回定期大会の成功をかちとろう。



11/26、28 勤労千葉が四回定期大会に結集しよう！  
★日時 11月26日12時〜28日15時 ★会場 茨城県潮来町 潮来ホテル